

新春 特別対談

コロナ禍から経済も回復し、もちも活気を取り戻そうという今、エネルギーや物価の高騰、人手不足などが足かせとなつて盛り上がるの勢いを削いでいます。新しい年、そして未来に向かって長野市が発展していくために何がポイントになるのか、荻原健司長野市長と水野雅義長野商工会議所会頭に対談いただきました。

行政と経済界が連携して多くの声に耳を傾け、 住む人来る人にとって魅力ある長野市を目指して



おぎわら けんじ
荻原 健司氏
長野市長

みずの まさよし
水野 雅義氏
長野商工会議所会頭

訴えていくことも考えています。

行政と長野商工会議所が 連携した取り組みが必要

—— 今後の経済の活性化について、お考えの
ことをお聞かせください。

荻原 会頭がおっしゃったように人手不足が顕著です。では、人が足りないなら企業が利益を確保するために何が必要か。いろいろ考えられますが、ひとつには生産性を向上させることかと思っています。こうした課題に対し行政も、例えば中小企業等に向けたDX推進支援、あるいはITに携わる人材の確保や育成に対する支援などを行っています。さらに、ほかにも生産性を少しでも上げていく施策があれば、**長野商工会議所とも一緒に**なって取り

コロナ禍から 日常に戻りつつある今

お二人は2023年をどう振り返りますか。

荻原 一昨年、新型コロナへの懸念が残るなか、長野商工会議所のご尽力と市民の皆様のご理解をいただき善光寺御開帳が実施され、長野市に非常に大きなにぎわいを生みました。

また、昨年5月にコロナが5類感染症に移行したことで、国全体の雰囲気明るくなり、活気につながったと思います。

夏には、私も市内各地のお祭りに参加させていただきましたが、コロナ禍で数年間開催できずにため込んだ勢いが、主催者の皆様、参加されている皆様の明るさや元気となって表れていました。

一方、エネルギー価格をはじめ物価の高騰、人手不足に悩まれている方が数多くおり、長野市でも国の地方創生臨時交付金を活用し、商工業者の皆様への支援をさせていただきました。

エネルギー高、物価高がいつまで続くのか目下定かではありません。ただ、今後経済を勢いよく回していくには、まず現場の声を受け止め、必要な支援を速やかに行うことが求められます。長野商工会議所をはじめ経済界の皆様との情報交換を密にし、一緒に取り組んでいきます。

水野 市長の言われたとおり、コロナが5類になり、さまざまな規制から解放されたことで、経済に勢いが戻ってきたと感じています。とはいえ、コロナ前に完全にすることはまだ厳しいというのが率直な気持ちです。

加えて、物価高により中小企業・小規模事業者の経営環境は厳しいままです。円安の進行で過去

組んでいきます。

また、今年3月には北陸新幹線が敦賀まで延伸します。これにより、西日本の方が長野へお越しになる際、日本海経由のアクセスが非常に便利になります。**長野へお客様を呼び込む**またとないチャンスです。もとより長野市には善光寺をはじめ、松代、戸隠などの観光資源に恵まれており、おいしい食べ物もたくさんあります。昨年、私は東京池袋で農産物や観光などのPRをさせていただきましたが、新幹線延伸後も長野に眼を向けていただければ、食のトップセーラー、観光のトップセーラーに努めます。

水野 デジタル技術を通じた生産性向上やキャッシュレス化は、その必要性を理解しつつ、どう取り組むべきか分からない事業者が多いと思います。そうした方々へ向け、セミナー等を通じて情報提供をすることが**長野商工会議所の役目**だと思っています。とりわけデジタルに不慣れで新たなチャレンジをすることに抵抗感のある高齢の方へのフォローを心がけます。

市長もおっしゃったように、現況の課題に対し行政と経済団体で連携したいとずっと感じています。例えば、教育委員会のご協力をいただき、長野の会社を子どもたちに知ってもらう機会をつくりましょうと先日お願いしたところです。長野にはさまざまな業種で素晴らしい企業が数多くあります。子どもたちにその存在を知ってもらいたく、え県外の学校へ進学しても、将来ぜひ長野に戻って就職してもらいたい、そう願っています。

若い世代の人口流出は地方都市にとって重大な課題であり、地域の活力を維持向上させるうえで、子どもたちをいかに地域につなぎとめるかが大きな鍵となります。ぜひ行政と連携して取り組ん

最高益を記録する大企業があるなか、企業業績の二極化が顕著です。大企業と中小企業等が共に成長できる持続可能な関係を構築し、日本経済全体として上がっていく気運をつくっていかねればなりません。

また、企業の体質強化や従業員の賃上げを実現するには、あらゆる商品、サービスの値段を全体的に底上げすべきですが、値上げに対する抵抗感もあり、好循環を生み出す力は世界から遅れをとっています。アフターコロナがもっと盛り上がって良さそうなのに、観光産業などでは人手が足りず需要に対応できないところもあります。その歪み、ジレンマを今直そうと苦心しているのが現状です。

いずれにしても、**今まさに悩んでいる事業者の皆さんに寄り添うことが長野商工会議所の使命**です。中小企業等のこの厳しい現状について、国へ



荻原健司氏プロフィール

昭和44年生まれ。平成4年アルペールビル・オリンピック冬季競技大会スキー・ノルディック複合団体 金メダル。平成4年早稲田大学卒業後、北野建設株式会社に入社(令和元年7月退社)。平成6年リレハンメル・オリンピック冬季競技大会スキー・ノルディック複合団体金メダル。平成16年参議院議員(平成22年7月任期満了)、令和3年11月長野市長。
座右の銘は「本気は本物か」。



水野雅義氏プロフィール

昭和40年生まれ。青山学院大学卒業後、ホクト株式会社に入社。平成7年常務取締役九州支店長、平成9年 専務取締役きのこ生産本部長、平成17年 取締役副社長を経て、平成18年より代表取締役社長。令和3年11月より長野商工会議所会頭、長野県商工会議所連合会会長。
座右の銘は「One for all, All for one」。

でいきたいテーマです。同様に地方の弱い部分である女性活躍についても、世の中の動きに立ち後れないよう、例えば子育て環境については行政にお願いする部分もありますし、また一緒にすべきことは実行に移したいと願っています。

荻原 会頭がおっしゃった、子どもたちに長野の会社について広く知ってもらい、気付きを与える取り組みはとても大事です。市も、昨年10月にも**ぜんぜんぶら座へながの若者スクエア「ふらっとり」**をオープンしました。若者が交流し、まちづくりや自主活動などをするための場所です。とにかく若い人たちに「長野市って面白いな」「行政も自分たちに目を向けてくれるな」と感じていただかないといけません。そうでないと、本当に人がいなくなってしまうし、まちの継続性がなくなってしまう。長野市の元気よさを将来につなげるべく、長野商工会議所のご提案も含め、市としても**若者**に

いきますが、いろんな方の発想を取り入れながら、この一見ピンチと思われた状況をプラスに転じ、長野市の商業振興に努めます。

スポーツについては、**会頭就任時にスローガンに掲げた「住む人 来る人 ワクワクする街 長野」を実現するために、スポーツは大きな力となります。**AC長野パルセイロと松本山雅FCの信州ダービーが長野Uスタジアムで行われたときの盛り上がりを目にした方は、スポーツがまちに及ぼす力をきつと信じられたと思います。チームにも**とくくなつてもらえるよう、会場にお客さんがいっぱい入ること、企業や行政もさまざまな形でチームを支えることが必要**です。ですから、長野市が資金面で援助してくださっていることはとてもありがたいと思います。

今後私たちもスポーツとの関係をより深め、例えば対戦チームが長野を訪れた時、また来てみた

対し、「長野に留まってがんばろう」と志していただけるよう取り組んでいきます。

ピンチを前向きに捉え、チャンスに転じる

—— まちの活性化についてはどう考えですか。
荻原 2点お話しします。ひとつは、2025年に須坂市にできる**イオンモール**についてです。長野市で商売をされている方々をはじめ多方面から心配の声をいただいています。出店はすでに決まったことですので、これに対し「自分たちでできることをしよう」「自分たちの地域を盛り上げるために」「自分たちでがんばろう」とイベントの開催等を企画する商店街や地域の皆様に対し、行政として応援させていただいています。

また、イオンモールを訪れる人の中には、せっかく

いと思われる魅力づくりなど、まちを盛り上げる取り組みができたらと思っています。

元気ある長野市の未来のために

—— 新しい年が始まります。今年1年、さらに未来に向けての思いをお聞かせください。

荻原 エネルギー価格や物価が高騰している現状の状況はすぐには変わらないでしょう。この点に関しては先ほども申し上げたとおり、長野商工会議所と一緒に状況を注視しながら、行政としてできることをやっていきます。

そのうえで、今年3月に北陸新幹線が敦賀まで延伸すること、インバウンドが再び活況を呈していること、こうした勢いを長野市、北信エリアにどう引き込めるか、観光資源の掘り起こしや魅力

だから周辺を観光しようと考える方も一定数いらっしゃるでしょう。そうしたお客様を長野市へ引き込むための取り組みも必要です。例えば、善光寺周辺には古い建物をリノベーションしてカフェや古着ショップなどを営む若い世代が増えています。こんなふうに、巨大なショッピングモールにはないまちの魅力を上昇させることが、長野市を含めたエリアを回りにくくなる動機付けになると思います。

もう一点は**スポーツ振興**によるまちづくりです。長野市では、AC長野パルセイロのトップチーム、レディース、ボアルース長野、信州ブレイブウォリアーズという**プロスポーツ4チームと一緒にまちの活性化に取り組んでいます。プロスポーツチームが元気になれば、人の交流が盛んになります。**買い物や飲食への消費も増え、お金も回っていきます。信州ブレイブウォリアーズ、AC長野パルセイロ、ボアルース長野への出資額を増やしたように、**スポーツと行政の関係を密接にすることで、まちの経済の活性化につなげていきます。**

水野 **イオンモール**については、ああいう巨大資本がお隣りの須坂市に出店することを当初は脅威と捉える向きもありました。ただ、彼らは敵としてではなく、**地域を共に盛り上げるものとして共存する道を探らないと、長野市の商業は衰退する**でしょう。

イオンモールも長野市を潰しにきたわけではありません。オープンまでまだ1年半ありますから、この時間をうまく使って、**私たちがイオンモールを巻き込むような取り組みをしていくべきです。**商店街、商工会議所、市長がおっしゃった善光寺周辺の新しい試みなど、さまざまな団体、人々を取り込んだ**一体的な活動が必要で、私たちも積極的にPRに努めます。**具体的な事業はこれから模索して

アップに努めていく必要があります。

もちろん、中小企業等支援や子育て支援、まちづくりなど、何をやるにも財源が必要になります。その財源を確保するには経済成長しかないと思います。令和6年度の予算編成における**基本的な投資**です。未来に向けた投資を積極的に行い**経済成長を促すこと**で、それが雇用につながり、所得につながり、市税へも還元され、その結果、市民サービスが向上していく、こうした**好循環を強い意志をもつて創り出して**いきたい。

また、コロナがもたらしたさまざまな不安から市民の皆様一人ひとりを解放させていく1年にしていきたいと思っています。

水野 昨年は長野びんずるが本来の形で開催されましたが、まだ参加する連は少なかつたです。経済やまちの活気をコロナ前に戻せる余地はまだまだあると考えます。いまだコロナへの不安を抱える方に寄り添いながら、**市内の事業者の皆様のご協力をいただいてイベント等を盛り上げ、長野市のあるべきにぎわいに向け一歩でも二歩でも進む努力を継続**します。インバウンドについては、スポーツ振興のところで申し上げたとおり、「長野に来て良かったな」と思っていただけるよう、活気のあるまちづくりに努めます。

経済振興もまちの活性化も、いろんな方がいろんな声を出して、今までと違った観点で物事を見ていくことが大事です。会頭になつて2年目を迎えました。もつと自由な発想をもって長野商工会議所に求められる使命を果たしていきます。皆様からどんな声を上げていただけたら幸いです。
荻原 多くの方々の声に耳を傾けることから「住む人 来る人 ワクワクする街 長野」が始まりますね。